

海外安全対策情報（第2四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) 総じて平穏，安全だが窃盗事件が多く発生しており，特に，地下鉄・駅での邦人のすり被害が極めて多い。またアテネ中心部では，各種労働組合等によるデモや抗議集会が連日のように行われており，ほとんどが平和的なものだが，一定の注意が必要。
- (2) アナキストグループの活動が活発であり，様々な口実で，政府関連施設，企業，大使館等に対する攻撃を行っている。今後，何らかの理由で日本関連施設が標的となる可能性も排除できないことから，注意が必要。
- (3) アテネ市内のエクサルヒア地区では，深夜にアナキストが政治関連施設や警戒中の警察に対して火炎瓶等による攻撃を繰り返しており，注意が必要。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) アテネでは地下鉄，駅構内での邦人のすり被害が極めて多く発生している。プロ集団による犯行で，旅慣れた旅行者も多く被害に遭っており，最も警戒が必要。オモニア，シンタグマ等では置き引きが多発しており，常に警戒が必要。

- (2) 国家警察が発表した2018年の犯罪発生件数は以下のとおり。

殺人	94件（対前年同期比＋16件）
強盗	4,357件（同＋86件）
侵入窃盗等	28,679件（同－1,836件）
自動車盗	23,969件（同－10,057件）

※今次から，犯罪統計の計上方法が一部変更となっている。

- (3) 邦人被害事案（一部手口を抜粋）

ア アテネの地下鉄で，降車時に扉が完全には開かず（犯人グループが足で押さえて仕組んだと思われる），複数の人に密着されたので危険を感じ，鞆を抱え込んだが，四方から手が伸びてきてチャックを開けられ，財布を盗まれた。

イ アテネの地下鉄駅で下車しようとしたところ後ろから押され，気づくと鞆が開いていて，旅券が盗まれていた。

ウ アテネの地下鉄乗車中，駅で多くの乗客が乗り込んできて押された際，ズボンの後ろポケットに何かが接触する気配を感じ，振り返ると，女が自分の鞆の下から手を伸ばして，財布をずり上げて盗ろうとしていた。

エ ビクトリア駅構内のエレベーターに乗った際，肘にかけていた鞆に違和感があり，降りた際に確認したところ，チャックが開いて財布が盗まれていた。

オ オモニアのバス停で待っていたところ，「服に塗料が付いている」と声をかけられ，手伝って拭いてもらっている間に2人の男に鞆2個を盗まれた。

カ アクロポリスを家族で散策中、気づくとリュックサックが開いており、財布や旅券が盗まれていた。

キ プラカのレストランで、手提げ鞆を椅子にかけて友人たちと食事していたところ、気づくと鞆が盗まれていた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

爆発物でＡＴＭを破壊する手口の窃盗事件が多く発生している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人等に対する誘拐事件及び脅迫事件は把握していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

具体的な問題は把握していないが、当地では、従業員の解雇や作業事故を口実として、アナキストが企業を攻撃するケースが多く発生しており、注意を要する。